

平成 31 年電気学会全国大会 本部企画シンポジウム

課題名 エネルギー需要を科学する

場 所 北海道科学大学 A棟 312

日 時 平成 31 年 3 月 13 日 (水) 午前

提 案 日本科学技術振興会との共催企画

概 要 電力システムをはじめとするエネルギーシステムにおいて、エネルギー需要はシステム全体の性能に大きな影響を及ぼす重要な因子であるが、これまで外生的に与えられることが多く、その構成や挙動を解明することは供給側の研究に比べてあまり着目されてこなかった。近年では、HEMS、BEMS、CEMS といった建物・地域レベルのエネルギーマネジメントシステム (EMS) が注目されるようになり、需要自体をシステムの制御対象と位置付け、管理・調整することが必要となっている。本シンポジウムでは、エネルギー需要を計画・管理の対象とするための学問領域として「エネルギー需要科学」を位置づけ、エネルギーシステムの性能向上や長期的な革新に向けて、エネルギー需要の科学的な扱い方、研究の手法論などについてその展望を議論する。エネルギー需要の多面的な性質を位置づけるため、電気工学のみならずその他の工学分野、経済学、サービス科学の観点から講演を得る。

	題 目	講演者氏名	勤務先名	所 属
1	EMS のためのエネルギー需要の科学的扱い	下田吉之	大阪大学	大学院工学研究科
2	電力システムから見た需要部門に対するニーズと EMS の役割	岩船 由美子	東京大学	生産技術研究所
3	エネルギー需要とは何か：経済学の視点から	大橋 弘	東京大学	公共政策大学院・大学院経済学研究科
4	サービス科学から見たエネルギー需要科学	日高 一義	東京工業大学	環境・社会理工学院
5	エネルギー需要のモデリング	山口容平	大阪大学	大学院工学研究科
6	全体討論			